

# トレイルランニング を楽しむ人 × 市議会

今回はトレイルランニング(トレラン)を楽しんでいる皆さんにお集まりいただき、その魅力や市内で開催される「ハセツネ」※についてお話を伺いました。

※ハセツネ 日本山岳耐久レース～長谷川恒男CUPの通称



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

秋川はバーベキューの聖地とも言われているけれど、  
トレランの聖地と発信してもらってもいいのかな

〈トレランとはどんなスポーツですか?〉

■ 退屈しないランニングとウォーキングだと思う。走るの山。ロードだと止まると負けない罪悪感があるけど、山だといつても止まったり歩いたり走ったりが選べる場所が好き ■ ロードを走っていた頃は足に負担がかかるので、よく痛めていて。トレランを始めた知人からの「山は地面が土だから足に優しいよ」という誘いがきっかけで始めた

〈初心者でも楽しめるものですか?〉

■ あきる野市には距離が短く手頃に楽しめる山が近くにあるので、初めてでも楽しめます

〈トレイルランニングの魅力は?〉

■ 体を動かし汗を流して、土や落ち葉、季節の景色が広がるトレイルを走る。気持ち良い山の中を走り、癒やされる時間こそが魅力かな

〈本市のトレラン環境は、いかがですか?〉

■ 街が近いので、何かあってもすぐ下りてこられる ■ フレア五日市のような施設もある ■ トイレはむしろ相当あるよね ■ 土日には全国からランナーが集まってきて走っている ■ 「ハセツネのコース走りたい放題だね」と羨ましがられます。秋川はバーベキューの聖地とも言われているけれど、トレランの聖地と発信してもらってもいいのかな

〈「ハセツネ」については、いかがですか?〉

■ 誇らしいです。トレランをやっている人には自慢です ■ 地域が盛り上がりつつ素晴らしい。楽しんで帰っていくのを見ると嬉しい ■ 「ハセツネで10時間切った」などとランナーの中でレベルを示す、指標となる大会 ■ トレランといえば、ハセツネかもしれない ■ ゴールが変わって、泥臭いイメージが華やかに ■ 五日市中学校がスタートで、五日市会館がゴールというのが伝統だった ■ 今回、檜原街道からのスタートもよかったですよ ■ 今までは大会を見に来ていなかった人がフィニッシュ地点のフレア五日市に来てくれたのもよかった ■ ハセツネ出場がきっかけで引っ越してきた。そういう移住者多いですよ ■ 私も。トレランができる環境に住みたくて

〈市や市議会に望むことは?〉

■ リアルタイムに近いSNSによる情報発信 ■ 子どもたちが山や川など自然に触れられる施策をつくって欲しい ■ トレランの環境は揃っているけど、終わった後、気楽に飲める環境とか ■ 3時位に定食を食べられるお店が欲しい ■ トレラン関連の店があるといい ■ 山に入ったとき、ぼろぼろの道標がある。ウェルカム感が出るように刷新して欲しい





# 第3回臨時会議 12月定例会議 議案審議 開 会 会 議

あきる野市の  
こんなことが決まりました。

第3回臨時会議 11月11日  
12月定例会議 会議期間22日間 11月27日～12月18日  
開会会議 1月6日

12月定例会議の議案は  
諮問…………… 1件  
市長提出議案……………25件  
議員提出議案…………… 1件

今号では  
この中から  
7つを  
Pick up

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。か、議会事務局へお問い合わせください。

## Pickup 1

令和8年4月1日から東秋留駅南口  
車両折り返し場が利用できます。

公共交通利用者の利便性向上や送迎車両に対する地域住民の安全確保のため、東秋留駅南口に車両折り返し場が新設されることから、条例を制定します。

こんな質問が出ました。

条例第5条第4号で車両折り返し場が駐停車禁止になっている。利用者から苦情が来ないか懸念しているが、市の見解は。

駐停車禁止は、るのバス等の円滑な運行のためのもので福生警察署との協議に基づく措置。令和8年4月の供用開始に向けて、市ホームページや広報、地元町内会への回覧などにより周知することに対応する。

自転車に限らず、供用開始に伴い、様々な事象が発生することが予想されるので、利用状況を注視しながら、今後、適切に対応していきたいと考えている。

（議決結果 全会一致で可決）



## A Q

駅に近いので放置自転車など、色々な課題が考えられると思う。どのように対応するのか。現時点においては、第8条に委任規定を設けており、放置

## Pickup 2

中小企業の事業資金の円滑な調達  
を支援するため条例を改正します。

中小企業の事業資金調達を支援するため、市が直接融資していた仕組みを、あっせんする形に改めるなど条例を改正します。

こんな質問が出ました。

まで4週間ほど要していたが、2週間程度に短縮できる。

（議決結果 全会一致で可決）

## Q

返済が滞るなどトラブルが発生した場合、市の責任や取るべき対応に改正前と改正後で大きな変化はあるのか。改正前は、債務が償還できなかった際の特定金融機関に対する損失補償や償還方法を変更する場合、特定金融機関との協議が必要であった。改正後は、融資を行う特定金融機関で対応することにより、市の責任や対応がなくなる。

## A

この改正によって、申込みから融資の実行まで、どの程度時間が短縮されるのか。手続が簡素化されることで、現在、申込みから融資の実行



## Pickup 3

令和8年4月1日から秋川溪谷  
瀬音の湯の利用料金を改定します。

物価上昇や下水道使用料の値上げなどにより、経営状況の悪化が見込まれる中、利用者が満足する継続的なサービスを提供していくため、利用料金を改定します。

こんな質問が出ました。

上げ幅を設定した理由は。入浴料と宿泊料の引上げ額を3つの形で試算した結果、入浴料を見直し宿泊料を4千円値上げする形に決定した。そのことで、約1190万円の

営業利益が見込まれるが、物価上昇や人件費の高騰は今後も継続する見通しであり、今の収支状況が将来的に継続するとは限らないため、長期的な視点で持続的に安定経営を行うには、適正な料金水準への見直しが必要と判断した。

料金改定を行わなかった場合はどうなるのか。

## A

試算になるが、営業利益が約2300万円のマイナスとなる。この場合、指定管理者である新四季創造(株)が負担することになるので、持続的な安定経営が困難になる。

（議決結果 全会一致で可決）





〈議案第90号〉 あきる野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

## Pickup 4 国の特定地域型保育事業等の運営に関する基準が改正されたことに伴い、市の家庭的保育事業等に関する要件を緩和します。

家庭的保育事業者等が保育内容の支援や代替保育等に係る連携施設を確保することが著しく困難な場合は、確保しないことができるよう規定を整備します。

こんな質問が出ました。

**Q** 市内の家庭的保育事業者で、連携施設の確保が難しいといった状況はあるのか。  
**A** 市内には、小規模保育施設が5園あるが、全ての園において連携施設が設定できている。



〈議案第95号〉 あきる野市障害者通所支援施設に係る指定管理者の指定について

## Pickup 5 あきる野市障害者通所支援施設「希望の家」の新しい指定管理者を決定しました。

「希望の家」の管理運営は、社会福祉法人SHIPが行うことになりました。指定期間は、令和8年度からの5年間です。

こんな質問が出ました。

**Q** 指定管理者が替わる際の引継ぎは、いつ頃からどういった内容を想定しているのか。  
**A** 引継ぎは、12月定例会議で議決された後、現指定管理者とも調整を行い、可能な限り早く開始することが望ましいと考えている。内容は、利用者の個々の特性や課題等のヒアリング、また、新たな職員が実際の支援に入ってもらうなどを想定している。



管理者のノウハウを生かした新しい活動もあると捉えている。様々な活動を行うためには、職員が利用者一人一人の状況を把握し、利用者及び家族との信頼関係を築くことが必要であると認識している。

(議決結果 全会一致で可決)

**Q** 希望の家は、油絵などの芸術活動を行っていたが、そうした活動を引き継いでいくのか。  
**A** これまで音楽教室や美術教室など多様な活動を行ってきたが、利用者や保護者の意向を踏まえ、継続して行う活動や

〈議案第96号〉 令和7年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)

## Pickup 6 地震・台風等災害対策経費の修繕費を追加します。

指定避難所である五日市会館敷地内の応急給水弁が腐食したため、修繕費を追加します。

こんな質問が出ました。

**Q** 五日市会館敷地内の腐食している応急給水弁の使用年数ほどの程度か。  
**A** 応急給水弁は、応急給水栓の部品の一つ。五日市会館敷地内の給水栓は令和元年度に設置しており、設置から6年が経過している。

した訓練を実施するほか、応急給水栓の使用方法を分かりやすく説明をする動画を作成し、市ホームページで配信を始めた。

(議決結果 全会一致で可決)



〈議員提出議案第7―3号〉 最高裁判決を真摯に受け止め、生活保護利用者に対する誠実な被害回復措置を求める意見書

## Pickup 7 「最高裁判決を真摯に受け止め、生活保護利用者に対する誠実な被害回復措置を求める意見書」は提出しません。

最高裁が違法とした生活保護基準引下げに対し、改定前との差額保護費を全ての生活保護利用者に速やかに支給することや違法引下げ改定の経過の検証等を政府に求めるものです。反対議員が多かったため、意見書は提出しません。

こんな意見が出ました。

**意見** 最高裁判決を軽んじるものでも、生活保護受給者への救済そのものに反対するものでもない。一方、全額補償は判決の射程を超えると考え、法的根拠に基づく適切かつ迅速な補償を求め、反対する。

**意見** 国民の権利である生活保護への差別をなくすべき政治がバッシングを煽ってきたことを深く反省し、国は、生活保護利用者に対して謝罪し、減額した保護費の差額全額を差別なく補償するべきと考え、賛成する。





聞いてみたいな  
こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 48件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

## 終活支援の取組の進捗状況について



浦野 治光  
(自民党志清会)



**Q** 令和6年9月定例会議の一般質問で、終活支援の取組について質問し、市からは、対象者の属性を問わない相談支援など、包括的に受け止める支援体制を構築していきたいなどの答弁があった。その後の終活支援に関する取組の進捗状況を伺う。

**A** 包括的な支援体制の構築は、令和7年度から健康福祉部の各課に配属していた保健師を福祉総務課に集約し、保健師が地区活動等を行う中で、関係機関等と連携を図り、取り組んでいる。その中で、終活に関連する相談や終活が必要と思われるケースの把握も行っている。また、終活に関する実態把握については、保健師が把握している状況を踏まえつつ、現在、地域包括支援センターと実施方法を協議している。市では、引き続き、国の動向等も注視し、終活支援体制の仕組みづくりに取り組んでいく。

他にまちづくりの取組及び進捗状況について質問した。

## 授業改善について



窪島 成一  
(自民党志清会)



令和7年度の教育方針で各学校が本市の豊かな自然フィールドを生かした体験活動や、歴史・伝統を受け継ぐ文化活動、地域のひととともにつくる協働活動を教育課程に位置付け、授業改善を推進することが示された。

**Q** 市内の学校で、自然フィールドを生かした体験活動について、どのような計画があり、実施されたのか。小宮ふるさと自然体験学校と連携した活動の実施。年間を通じた米づくりの体験、自然を生かした醤油づくりを見学するなど、各学校が所在する地域の特色に応じた体験活動を実施している。

**A** 歴史・伝統を受け継ぐ文化活動について、どのような計画があり、実施されたのか。農村歌舞伎、お囃子・獅子舞は、保存会等の人から歴史等を教えてもらい、専門

的な指導も受けている。披露する場を設けることで、郷土愛や社会性が育まれていると考える。

**Q** 地域の人をつくる協働活動について、どのような計画があり、実施されたのか。

**A** 授業に地域の人を招いたり、一緒に美化活動等に取り組むなど、地域の人が関与している。児童・生徒の学びの質の向上につながると捉えている。



## 地域経済の活性化について



中村 一広  
(自民党志清会)



**Q** 地元商店や飲食店などが継続的に活用できる仕組みづくりや市民が利用しやすい決済環境の整備について、どのように考えているのか。

**A** 商工会と連携したキャッシュレス決済の導入に関するデジタル化促進セミナーを開催するなど、事業者の理解を深め、引き続き、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいく。

**Q** 商店会同士の連携や活性化に向けた支援をどのように進めていくのか。

**A** あきる野商店会連合会や商店会、地域団体とあきる野マルシェを開催し、連携強化に努めている。今後、情報提供やイベントでの支援などに取り組む、連携や活性化を図っていく。

**Q** 令和5年12月定例会議で、市内の中小事業者が利用できる融資制度について、種類や利用状況を質問し、更なる事業者支援を求めた。その後の状況は。

**A** 制度の見直しを進めており、本定例会議で、預託金制度の廃止や対象者の拡大等の規定を整備したあきる野市中小企業振興資金融資あっせん条例を議案として提出した。

他にガソリン税について質問した。





## 市内小・中学校の将来像と子どもたちの学びの環境について



村野 栄一  
(自民党志清会)



少子化の進行で全国的な学校の再編や統廃合が課題である。安心して通える学校、そして地域が誇れる教育環境をどう守り、次世代へつなげていくのか伺う。

**Q** 児童・生徒数の減少や施設の老朽化を踏まえ、学校の再編についての今後の検討は、地域の理解や発意を得ながら、地域における機運の高まりを踏まえ、検討すべきものと考えている。

**Q** かつて教育の充実を図るため学校を分割したが、互いに小規模校になった今後は、

**A** 児童・生徒数の見直し、施設更新時期、小中一貫教育の推進など教育現場の現状や、避難所等地域拠点としての位置づけ、時代の趨勢等を踏まえた検討が必要。また、学童クラブや児童館、さらに福祉機能との複合化等、全分野を包含する形の制度設計が必要と考える。

**Q** 学校の再編や統廃合が実施される場合、跡地の利用や地域との連携は。

**A** 財政状況を踏まえ、資産の有効活用や立地特性等、多角的視点から組織全体で議論する。地域の意見や要望の把握、理解促進に向け、町内会・自治会や地域の各種団体等の意見を伺う。

他にICT化推進の全国学力テストについて質問した。



## 男女共同参画について



松本 ゆき子  
(共産党)



**Q** 現在の第5次男女共同参画プランの計画期間は令和4年度から令和8年度となっている。令和6年度の男女共同参画プラン推進状況報告書作成を進めていると思うが、現状と市民会議の委員からの意見を伺う。

**A** 報告書の取りまとめ作業中。今後、市民会議で報告書の内容を協議後、市ホームページに掲載予定。委員からは男女共同参画の認知度の更なる向上、目標の可視化、DV相談等に関する周知の工夫等の意見があった。

**Q** 男女共同参画社会について更に認知度を上げるために組織として男女共同参画センターや課を設置すべきと考えるがいかがか。

**A** 令和7年の法改正で男女共同参画センターの調整機能

を担う体制確保が地方公共団体の努力義務とされたため、今後、センター機能を担う体制整備を検討する。

**Q** 国は、令和7年末を目途に第6次男女共同参画基本計画を策定する予定だが、本市の策定スケジュールは。来年度、各課ヒアリング等を行い素案作成、市民会議で3回程協議し秋を目途に計画案作成。その後、議会での報告、パブリックコメントを経て3月に策定予定。

他に小・中学校の修学旅行費、教材費などの無償化、クマ対策について質問した。



## 胃がん検診における内視鏡検査の実施について



原田 ひろこ  
(公明党)



令和7年度施政方針では、胃がん検診への内視鏡検査導入に向け、医師会等と協議を継続することが示された。過去にも進捗状況を確認し、課題整理が進んでいると理解している。市民の関心も高く、実施時期や対象、費用の具体化が期待される。

**Q** 実施開始の見通し及び受診方法の検討状況は。

**A** 検討委員会の議論等を踏まえて決定する必要があるため、開始時期は示せないが早期導入に向けて協議を進める。受診方法は現行のがん検診同様、9月から翌年2月までを受診期間と想定し、申込手続や受診の流れを医療機関の意見を参考に検討する。

他に安心できる在宅医療・介護連携の推進、人権啓発の推進について質問した。



## 武蔵引田駅北口土地区画整理事業における清算金について



辻 よし子  
(くさしぎ)



令和元年に各地権者へ渡した資料に誤りがあり、清算金予定額が10万円以上高くなる地権者が240名中95名に上る問題が起きている。

**Q** ㈱オオバの市に対する責任について、その後の調査でどのようなことが明らかになり、市は㈱オオバにどのように責任を取らせるのか。

**A** ㈱オオバは、JRの換地不交付分等を含まない清算指数であることを市に伝えていなかった点、誤った清算金額を市職員と一緒に全地権者に説明した点について認めた。㈱オオバの瑕疵や市への損害については、互いの顧問弁護士に相談し対応する。

**Q** 地権者に対する説明責任は市にあるとのことだったが、地権者の理解は得られたか。



**A** 説明会、面会、書面の郵送等により、多くの地権者の理解が得られたと受け止めている。納得が得られていない一部の地権者には、引き続き説明等を重ねる。

**Q** 各地権者に、誤った清算指数を記載した文書が市長名で出されているが、その取扱はどうなるのか。

**A** 令和9年4月頃、最終的な清算金額を文書で知らせる際に、今までの経緯を記載した説明文を同封する。

他にごみ収集運搬事業、今後の汚水処理整備事業について質問した。



## 視覚障がい者への支援について



国松まさき  
(自民党志清会)



**Q** 本市が現在把握している視覚障がい者の人数は。

**A** 令和7年10月31日現在、視覚障害による身体障害者手帳の所持者は128人。

**Q** 視覚障がい者に対して本市が行っている主な支援策は。

**A** 障害福祉サービスによる同行援護や居宅介護、活字文書読上げ装置や視覚障害者用拡大読書器などの日常生活用具給付事業による給付、音声版及び点字版の広報あきる野の配付のほか、東京都と共同でスマートフォン体験会を市内において実施。

**Q** ガイドヘルパー養成講座は都内で実施されている。都との連携により地域内での講座開催や、資格取得にかかる費用助成など、ガイドヘルパー人材を確保する取組を検討できないか。

**A** 人材確保策については、都や近隣自治体の状況等を調査・研究していく。

**Q** 視覚障がい者に限らないが、日常生活用具給付事業で対象となる用具について、ホームページで公開されていないため、利用者が毎回電話で問い合わせが必要となる。ホームページで公開できないか。

**A** 利用者等の利便性の向上を図られることから、実施に向けて検討していく。



## リトルベビーハンドブックについて



大久保 昌代  
(公明党)



**Q** リトルベビーハンドブック（低出生体重児成長記録冊子）は2500g未満で生まれた赤ちゃんや、その家族が安心して成長を見守ることができるよう導入が進められた。一般的な母子健康手帳では標準的な成長曲線が中心となっており不安を感じるケースもある。

**Q** 本市における低出生体重児の出生状況と支援体制の現状は。

**A** 令和6年度の出生数366人中41人。出産医療機関から当該児の退院に合わせて、こども家庭センターに連絡が入り次第、地区担当保健師が速やかに保護者に連絡し家庭訪問等を行い、保護者が安心して育児ができるよう、必要な情報提供を行うこととしている。その後も相談に応じている。

**Q** 保健師や医療機関を通じて対象となる家庭へ確実に東京都のリトルベビーハンドブックである、のびのびNICU入院児支援手帳が届くよう配布する考えは。

**A** 市では低出生体重児について、医療機関からの連絡や出生通知票により把握が可能となっている。把握次第、地区担当保健師が保護者へ連絡し、確認する中で手帳を受け取っていない場合は、必要に応じて渡す対応を必ず行っていく。



他に防災・減災対策、空き家対策の推進について質問した。

## 産後ケアについて



子籠 敏人  
(自民党志清会)



**Q** 産後ケアの市内でのニーズや利用が増える中、利用できる期間を拡大してほしいとの声を、利用者と提供者の双方から受けている。産後ケア事業を行っている自治体の中には、実施施設によって受入月齢が異なる提供体制をとっているところもある。このような取組も参考としつつ、本市でも利用期間の拡大を図ってほしいと考えるが、見解は。

**A** 宿泊型と通所型の期間については、過去に3か月から7か月に期間を拡大した経緯もある。この期間については、施設の対応が可能かどうかなどの確認もしながら、可能な限りサービスの拡充を図っていきたい。

**Q** 施設改修の支援について、速やかな予算化と実施を求めたいが、今後の見通しは。施設改修の支援については、事業の提供環境が充実し、子育て支援に寄与することから、可能な限り早い対応を図っていきたい。このため、令和8年度の当初予算に計上し、速やかに実施していきたい。

他にマンホール、がくどうひなんじよ、図書館の周年事業について質問した。



## あきる野市産業祭について



堀江 武史  
(自民党志清会)



**Q** 第29回あきる野市産業祭が、数多くの事業者や生産者、団体の協力の下、開催された。特設ステージでは、音楽イベントや表彰式などが行われ、特別協賛として臨時シャトルバスの運行も行われた。

**A** 特設ステージの更なる活用は、運営委員会と協議しながら、より魅力的な産業祭となるよう、家族みんなが楽しめる内容や地域色豊かなイベントなどを検討していく。

**Q** 特設ステージにおいて、有料でPR時間を設けることはできないか。

**A** 産業祭の運営費が年々上昇する中での財源対策として検討していきたい。



他に徴収業務における効果的な催告について質問した。



## 自然・農林資源を活用した 地域価値の創出について



ひはら 省吾  
(自民党志清会)



本市は豊かな自然がある一方で担い手不足により管理が不十分である。また、観光等の取組も産業との連携が弱く、自然環境の保全と活用の両立が求められている。地域価値向上と持続可能なまちづくりを進める視点が必要であると考え、林業・農業の担い手不足への支援策と具体的な成果目標は。

業紹介などの支援を行っている。林業の成果目標は定めていないが、農業では総合計画に定めた新規就農者数の目標を達成している。

観光や教育などにおける体験を通じた地域価値創出の取組は。

戸倉体験研修センターで地域資源を活用した体験の場を提供。特に農業体験では遊休農地の有効活用や農業従事者の掘り起こしを目的にしている。また、宿泊者の食事において地産地消を目指し、農業従事者の意欲向上に取り組んでいる。

他に生産年齢人口の流出防止と働く場の創出について質問した。



## プロ野球国内独立リーグ新球団 誕生に伴う市の取組について



増崎 俊宏  
(公明党)



青梅市と本市を拠点とするプロ野球国内独立リーグの新球団、東京レジデンシャル(仮)の誕生が発表された。協定項目の一つである市民球場の利用について、球団の活動が既存の市民利用に与える影響は。

新球団の活動が既存の市民利用に大きな影響を与えない範囲内での利用を確認しており、地域団体との交流を含め調整を進めていく。

試合開催時、市民球場周辺での交通渋滞、駐車場不足及び交通事故等の安全対策は。今後、東京レジデンシャルと協議を進め、関係部署、関連団体等と調整・連携を図るとともに、地域の皆さんの理解を得ながら対応していきたいと考えている。

新球団との連携事業をフックとした、市内外の企業への新たな企業版ふるさと納税の募集や、市内企業へのスポンサーシップ仲介・促進を行う考えは。

プロ野球独立リーグは、本市で試合を行うなど、スポーツの振興と併せて地域活性化に大きなチャンスがあると捉えている。新球団の活動が進む中で、様々な可能性を模索していく。



## 命を支える地域づくりに ついて



中村のりひと  
(明るい未来)



多様な形がある里親制度を広く周知し、参加しやすい環境を整える考えは。

東京都では、夏休みや土曜日曜、祝日等に乳児院や児童養護施設の子どもを一時的に家庭で預かるフレンドホーム制度を実施。子どもたちにとって、施設で体験することのできない家庭での生活体験が、今後の成長にとっても大切であるとして実施している。市としても、里親制度の一つとして、フレンドホーム制度を分かりやすく周知し、参加しやすい環境の整備に寄与していく。

里親制度は都が実施主体だが、市内の里親家庭が果たしている役割は極めて大きい。市内で一時保護が必要になった際、市内里親家庭で受け入れができれば、子どもは学校や保育所にそのまま通い続けることができる。この生活の連続性は、子どもの心を守る上で何より重要な要素。里親制度の正しい理解促進・周知・参加しやすい環境づくりに、どのような方向性で取り組むのか。

里親制度の実施者は都道府県だが、市民に身近な基礎自治体として、里親月間等の機会を捉えて、里親制度の普及啓発に取り組んでいく。

緊急猟銃制度について、市の考えを伺う。

東京都、市町村との連携と対応は。

都などと連携して対応マニュアルを作成し、マニュアルに基づく想定訓練等を実施するなど平時から準備を行い、制度の適切な運用により市民や従事する職員等の安全確保に努めていくことが重要であると考えている。また、他の市町村とは目撃情報が行行政界であった場合は一緒に現場確認をしたり、クマ対策の情報交換を行ったりしている。

学校への情報提供や支援、アドバイスの状況は。

クマの目撃情報があった場合は、教育委員会と情報を共有し、各学校に周知を図っている。また必要に応じて関係職員のパトロール、クマスプレーやクマ鈴の貸出しも行っている。

他に都市計画道路について質問した。





## 不登校児童・生徒及び保護者の支援について



しょうじ さとし  
(リメンバー)



**Q** 市の機関と言えるような所が、その子にとって最適な学びの場や居場所であるとは限らず民間も含めたその他の機関等が大きな意味を持つこともある。地域にある支援、資源の情報が、保護者や子どもたちに届いていることが望まれるが届いていると理解して良いか。

**A** フリースクール等の民間施設の利用について相談を受けた場合、市内や近隣地区にある施設の情報等の提供や、実際に利用の手続を進める際、書類作成の支援を行うなどの対応をしている。今後、より多様なニーズに応えられるよう、市内及び

近隣地区における不登校児童・生徒の居場所となる施設等の情報を収集し、一覧にまとめるなどして周知を図ることを検討している。

**Q** 不登校支援においても、重層的支援体制整備事業で求められているつなぎ、支援出合いの重層化の視点は大切であると考え、こうした視点からの取組が一層進むことを望むが、見解は。

**A** 関係する部署や機関とこれまで以上に連携し、支援の充実を図っていく必要があると捉えていることから、他自治体の先進的な取組等について調査・研究していく。

他に公における契約及び調達に対する考え方、ひきこもり支援について質問した。



## 市内公共施設について



たばたあずみ  
(共産党)



公共施設等総合管理計画の改定作業が進められている。今後の個別具体の検討に向け、市の考えを伺う。

**Q** 生涯学習やスポーツに取り組む市民を増やす目的は。

**A** 生涯学習やスポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことを目指している。

**Q** 市西部地域に建物として公民館的な施設・スポーツ施設はどの程度あるのか。人口規模と照らした設置率は低いのか。

**A** 公共施設数は23施設で全施設数の約21・3％。人口の割合は全人口の約13％。

**Q** 五日市地域の施設は集約化が提案されており、市民は規模縮小を心配している。図書館等が削られないか。再編等の方向性である規模縮小は、公共施設等個別施設計画において、設置義務



制との兼ね合いや今後の見込みを含め、利用度が低調な施設については規模縮小を検討することが妥当であるとしている。図書館は準義務的施設として重要性が高く、縮減面積などの在り方は、現在及び将来の利用度を踏まえ、具体策として今後検討していく。

**Q** 早い段階から市民の意見を聞き取る努力をすべきでは。説明会などを開催し、関係団体等の意見を伺いながら、今後検討する。

## 本市におけるクマ対策の状況について



よしざわゆたか  
(自民党志清会)



令和7年9月定例会議において、本年度のクマの目撃情報について質問した時点では、昨年度より減少したとのことだったが、それからわずか2か月余りで、連日クマに関する目撃・被害情報が飛び交っている。

**Q** 令和7年度は、11月末時点での本市におけるクマの目撃情報の件数は、昨年度の同時点と比較していかがか。

**A** 令和7年11月末現在、痕跡を含むクマの目撃情報等の件数は25件であり、昨年度の同時期と比較して34件少なくになっている。

**Q** 令和7年度は、11月末時点での本市におけるクマの捕獲数は。

**A** 捕獲実績については、今年度は0件。

**AQ** 市民生活への影響は。クマの出没を警戒し、朝夕の散歩などの外出を控えているということや、五日市中学校で10月に実施を予定していた校外学習を、令和8年1月又は2月に延期するなど、少なからず影響がある。

他にいじめ・不登校について質問した。



## エアコン購入支援について



関口 えり子  
(共産党)



**Q** 生活保護世帯のうち、エアコンが未設置の世帯は把握しているのか。

**A** 生活保護世帯におけるエアコンの設置状況は取りまとめているが、ケースワーカーが生活状況を確認する中で把握している。

**Q** ケースワークをする中で、エアコンが設置されていない、又は故障が放置されていたという事例はあったか。該当する事例はある。その場合、訪問調査の中でエアコンの購入や故障時の修理について、助言や指導を行っている。また、必要に応じて社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度の案内もしている。

**Q** 生活保護世帯をはじめ、生活困窮世帯へのエアコンの新規設置や買い替えなどの支援を行うべきと考えながら市の見解は。

**A** 生活保護世帯への支援は、国から示されるエアコン購入費用の取扱い等に基づき対応している。また、生活困窮世帯へは相談支援の中で、助言や利用可能な事業の案内等を行っているためエアコン購入支援は考えていない。

他に公共交通の充実について質問した。





あきる野市議会活動レポート

産業祭にて「ギカイの時間」を配布



広報広聴委員会では、11月8日と9日に開催されたあきる野市産業祭において、市民の皆さんに市議会をより身近に感じてもらうため、あきる野市議会だより「ギカイの時間」を配布しました。

中学生の主張大会最優秀賞受賞者の作品発表を行いました



1月6日の開会会議に先立ち「第30回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会」の中学生の主張大会で、最優秀賞を受賞した東中学校1年生の清水利音さんが「お互いの安全を守り合おう」について発表しました。議場には多くの方が見学に訪れ、清水さんに大きな拍手が送られました。

総務委員会 行政視察



総務委員会では、11月4日から5日にかけて、富山県小矢部市において、「地域に根ざす共生社会づくりを活かした障害者と健常者が共に学び共に行う防災訓練」について、石川県加賀市において、「加賀市版スマートバス構想」について視察しました。

プロジェクトチームによる主権者教育を実施



11月6日に「ジブンゴト化PROJECT～自分たちのことは自分たちで決められる～」というテーマで、東中学校特別支援学級の生徒を対象に主権者教育の授業を実施しました。

圏央道あきる野インターチェンジ周辺の道路について



天野 正昭 (自民党志清会)



Q 夏季の周辺道路の混雑の状況や圏央道の利便性向上の観点から、圏央道あきる野インターチェンジ西側に、国道411号線を経由せず、サマールランド方面に直接アクセスできる道路の新設及び同インターチェンジ付近へのサービスエリア又はパーキングエリアの設置としてはどうかと考え、市の見解を伺う。

A 首都圏中央連絡自動車道は物流や観光などを通じて地域経済の振興に欠かせない広域インフラであり、全線開通に向けた整備が進む中、交通量も増加している。本市では夏季の観光シーズンに、あきる野インターチェンジ周辺で渋滞が発生していること認識しており、今後は渋滞解消や利便性等を踏まえ、相武国道事務所やNEXCO東日本と協議していく考えである。

他にデジタルアーカイブの構築、JR五日市線について質問した。



主な議案に対する会派の賛否一覧

議案番号	件名	議決結果	自由民主党 志清会 (11人) ※1	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野市議団 (3人)	明るい未来 を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
議案 81	あきる野市議会議員及びあきる野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	×
議案 84	あきる野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	×	×	×
議案 90	あきる野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 91	あきる野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 93	あきる野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 102	あきる野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	×	○	○	○
議案 103	あきる野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○
議員提出 議案 7-3	最高裁判決を真摯に受け止め、生活保護利用者に 対する誠実な被害回復措置を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○

※1 議長は賛否に加わらない。 ○：賛成 ×：反対